

《どうでもいい話、その 540》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

私が住んでいる神戸市垂水区のつつじが丘も高齢化が進み、小学校も1学年1クラスで、教室もかなり余っています。それに比べボランティアを行っている車で10分ほどの塩屋町の小学校は、1学年3クラスほどあります。この地域は近年海沿いなどに高層マンションが続々と建設され、比較的若い人たちが住んでいるからでしょう。どうも最近の「丘」は、一時の元気がありません。以前の丘は元気はつらつで、希望ヶ丘、自由ヶ丘、夕陽ヶ丘など、当時の新興住宅地は競って「丘」を付けましたが、みな歳をとってきました。そういえば私が若いころは歌謡曲もやたら「丘」が登場したものです。♪丘のホテルの赤い灯も・・・とか♪松風騒ぐ丘の上・・・ また♪丘の上ひんなげし・・・はアグネス・チャンが歌っていました。もっと古い歌では♪今日も暮れゆく異国の丘に・・・♪緑の丘の赤い屋根とんがり帽子の・・・などなど。それが今や丘は疲れきって元気を失い、歌詞にもあまり出てきません。女性タレントも、浅丘ルリ子、丘みつ子、麻丘めぐみ など活躍していましたが、もうおばあさんです。オカ惚れしたオカっぱ頭の女の子が、オカあさんになって数十年経つとオカチメンコのオカしいオカおになり、オカまいなしになったのと同じように、丘は廃れてしまいました。

オカげ様で、オカわりない 岩波より